

2024年5月23日(木)12:10～12:20CRT スタジオ収録

英語の学び方を考える

—「発音練習」「暗唱」「書き取り練習」で英語を身に着けよう—

開倫塾
塾長 林 明夫

1. 英語を学ぶ機会はたくさんあります

- (1) 学校…小・中・高校、大学・短大・専修・専門学校、大学院、学習塾・予備校
- (2) 英会話学校、公民館、放送大学、NHKラジオ・TV、インターネット
- (3) 本や参考書…山ほどある、書店、図書館、CDもたくさん出ています



2. 「英語の4技能」とは、

- (1) 「読む力」…文書、テキスト、新聞、雑誌や本の英語が読める
- (2) 「聞く力」…会話、授業、音声、ラジオ、スピーチ、映画の中の英語が聞き取れる
○少し複雑な内容は、「読んで分からないことは、聞いても分からない」と思われます
- (3) 「話す力」…自分のことばで話す、いい表す、説明することができる
- (4) 「書く力」…自分のことばで、英語で書き表す、説明することができる

3. 日本人が最も不得意なのは

- (1) 「英語で話すこと」と「英語で書くこと」
- (2) なぜか…「英語で話す練習」「英語で書く練習」を学校で徹底的に行っているところは極めて少ない。また、自己学習でも全くといってよいほど行っていないからです
- (3) 特に①「発音練習」②「暗唱」③「書き取り練習」をほとんど行っていないからです



4. ではどのように「発音練習」と「暗唱」をしたらよいか

- (1) テキストに合ったCD教材を用いて、一度習った範囲、これから習う範囲の、「単語」や「文章」を、「アクセント」「抑揚(イントネーション)」に気を付けて、教科書を手でしっかり持ち、大きな声でゆっくり、「発音練習」する
- (2) スラスラ、よく読めるようになるまで何回もゆっくり「発音練習」する
- (3) スラスラよく読めるようになったら、その「文章」を何も見ないでいえるまでに、「暗唱」する

5. (1) 英単語や英語の文章は、日本語に訳してみる(日本語訳をつくる)

- (2) その「日本語訳」を見て、「和文英訳(I)」日本語訳を見て英語が口をついて出てくるまで、大きな声で「発音練習」をする。「暗唱」の練習をする
- (3) 「和文英訳(II)」日本語訳を見て英語で正確に書けるまで、「書き取り練習」をする

6. (1) この「音読練習」・「暗唱」「書き取り練習」で英語を「話す力」「書く力」が飛躍的に高まります

- (2) 「予習」「授業」「復習」の場面で、テキスト、教科書、教材を用いてこれらの練習をを徹底的に行ってください
- (3) 定期試験・模擬試験・入試過去問の英語・英語の単元テスト、すべてを対象にしてこの練習を実行してみましょう。素晴らしい効果が生まれます

◆今回の放送内容の参考図書<開倫塾指定図書>是非、お読みください

- (1) 黒田龍之介著「ロシア語だけの青春」ちくま文庫、2023年6月刊
- (2) 篠ヶ谷圭太著「使える！予習と復習の勉強法—自主学習の心理学」ちくま新書、筑摩書房 2024年4月10刊

